

令和2年 5月市長定例記者会見

日 時：令和2年4月28日（火） 午前11時～

場 所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、
NHK 富山放送局、富山テレビ、庄東タイムス

当局出席者：市長、財務管理部長、企画管理部次長、未来創造課長、
商工企業立地課長、生涯学習・スポーツ課長

○質疑応答の概要

Q 1. 県制度融資について、どのくらいの企業の利用を見込んでいるのか、また、それ以外に市独自で更に助成を検討しているのか伺いたい。

A 1. 利用の見込みについては、市としての目安はセーフティネットの件数となる。3月末までで、新規としてセーフティネット4号は13件、危機関連保証は2件、セーフティネット5号は8件で、合計31件の認定を行った。4月27日までで42件の認定を行っており、3月2日以降で合計73件となった。非常に多くの方々がセーフティネットの認定を経て、制度融資を活用していることが分かる。多くの方々が対象と考えられ、予算規模については、臨時議会などで説明をしてきたが、この予算に収まらない状況であれば、追加しながらしっかり支援をしていきたい。

Q 2. 報告書の一般販売について、販売時期と場所について伺いたい。

A 2. 全部で800部作成したが、そのうち500部については関係機関やご協力いただいた団体や市の施設への配布を考えている。残りの300部を販売する。200部は曳山関係の方（個人）へ関係団体を通じて販売、100部は新湊博物館に置き、1部あたり2,000円で一般向けに販売を行う。販売時期はできるだけ早くしたいと考えている。

- Q 3. 県制度融資の助成について、3月に31件とあったが遡及して助成の対象とはしないことで間違いはないのか伺いたい。
- A 3. 4月1日から申し込まれた方を対象とするため、遡及して対象とはならない。ただし、セーフティネットの認定件数が31件ということであり、中には、3月中に認定を受け、申し込まれたのが4月以降という方もいる。
- Q 4. 新型コロナウイルス感染症に対する市独自の支援策について、5月上旬の臨時市議会で上程する予算規模の想定と現段階で言える支援策があれば伺いたい。
- A 4. 県制度融資に対する保証料の助成の他にも、飲食店等の市内事業者が厳しい状況であると認識をしている。現在、更なる応援の施策を検討している。その他にも、学校の休業による昼食代等への負担の声も聞いている。国においては、現在、子育て世帯への臨時特別給付金等の事業も予定されており、市としても速やかな給付に向けた準備を行っている。更なる応援の事業については、検討している。5月連休明けの臨時議会で上程する予算規模についても精査中である。
- Q 5. 小中学校の授業再開の可否や公共施設の使用再開等の判断はいつ情報が出るのか。
- A 5. 小中学校の休業や公立幼稚園の休園、公共施設の休館等は県の緊急事態宣言が出ている5月6日までを対象としている。新型コロナウイルス感染症感染拡大の収束がなかなか見えない状況である。とりわけ危機感を感じるのは、感染ルートが分からない方が増えてきていることである。これらを考慮し判断していくが、県においてもこのような状況の中で新たな判断があるかと思う。市としても混乱を抑えるためにも、連休に入る前の早い段階で話ができればと考えている。それらを判断するために現在情報収集を行っている。